

## II 事業概要

### 1. 学術振興事業

#### (1) セミナー「現代科学・技術の最前線」第122回

本会では、昭和57年より賛助員の皆様を対象に最新の知識と情報を提供すべく、広い分野の中から関心の高いテーマを選び、標記のセミナーを開催して参りました。

本年度は、「脳波の信号処理」の分野に注目し、下記の通り実施いたしました。

回	開催日	演 題	講 師	会 場
122	H28. 7. 20	『脳波信号処理の最前線』 ～脳波解析の現状と応用～ 開 会 講 演 1 「脳信号解析および感性取得法」 講 演 2 「実現場における応用」 閉 会	一般財団法人慶応工学会 常任理事 村上 俊之 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 准教授 満倉 靖恵 株式会社電通サイエンスジャム 取締役 神谷 俊隆	慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎1階 シンポジウムスペース

〔追記〕上記セミナーへの参加者は、37名でした。

#### (2) 研究費援助

平成28年度研究費援助として、5件に総額1,200,000円支給。

#### (3) 国内学会出張費援助

平成28年度国内学会出張費援助として、慶應義塾大学大学院理工学研究科学生23名に663,530円支給。

#### (4) 図書購入費援助

平成28年度慶應義塾大学理工学メディアセンター図書購入費として、200,000円の援助を行った。

#### (5) 研究会合費援助

平成28年度研究会合費援助として、1件に50,000円支給。

#### (6) 革新的教育研究活動支援資金援助

「慶應義塾大学理工学部創立75年記念事業支援」の2年目として、平成28年度は1件に1,000,000円支給。

## 2. 国際交流事業

### (1) 国外学会出張費援助

平成 28 年度国際学会における研究成果発表のための国際学会出張渡航費援助として、9 件に 630,000 円支給。

### (2) 国際交流推進援助費

◀ 国際交流 ▶

平成 28 年度共同研究等による海外への出張等に伴う渡航費援助として、2 件に 180,000 円支給。

◀ 招聘 ▶

平成 28 年度共同研究等による海外研究者の受け入れに伴う渡航費援助として、1 件に 90,000 円支給。

## 3. 育英奨学事業

### (1) 慶応工学会賞

平成 28 年度慶應義塾大学卒業式に際し、成績優秀者 7 名に賞状および記念品を授与。

### (2) 給費奨学金

平成 28 年度給費奨学金を理工系大学院（前期・後期博士課程）の学生 18 名に 6,480,000 円支給。

### (3) 育英奨学金

平成 28 年度育英奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程の学生 3 名に 2,100,000 円支給。

## 4. 研究推進事業

### (1) 平成 28 年度の委託研究契約は、31 件で、103,300,992 円であった。

(契約額の増額および期間延長を含む)

### (2) 平成 28 年度の共同研究契約は、12 件で、30,558,945 円であった。

(契約額の増額および期間延長を含む)

### (3) 平成 28 年度使用研究者指定研究資金としては、3 件で、750,000 円であった。

## 5. 学術普及事業

以下の第 49 回経済性工学セミナーの開催に関わる事務を受託した。

日 時：平成 28 年 12 月 2 日（金）～平成 28 年 12 月 3 日（土）

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 2 階多目的教室 2

講 師：中村善太郎 慶應義塾大学名誉教授

河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

篠田 心治 成蹊大学理工学部教授

稲田 周平 慶應義塾大学理工学部准教授

参加者：25 名

## 6. その他

今年度初めて、慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)の協賛の下、当財団賛助員企業等から希望者を募り、慶應義塾大学工学部の最先端産学連携研究施設の見学会を実施した。

日 時：平成29年3月1日(水) 15時30分～17時00分

会 場：慶應義塾大学工学部 14棟7階「フォーラム」及び研究施設

### <プログラム>

- 15:30-15:35 開会挨拶 慶應義塾大学工学部長 青山藤詞郎
- 15:35-15:40 挨拶 一般財団法人慶応工学会常任理事 西山 繁
- 15:40-16:00 研究紹介 慶應義塾先端科学技術研究センター所長 鈴木哲也
- 16:00-17:00 施設見学会
  - 「マニファクチュアリングセンター」(34棟)
  - 「産学連携棟ナノイメージングセンター」(36棟)
  - 「慶應－神奈川ものづくり技術実証・評価センター」(07棟)
  - 「工学部中央試験所」(26棟)

参加企業	賛助員企業	14社 26名	
	一般企業	7社 14名	参加者総数 40名